

高等学校の生物教育における教育用語集の作成について

生物教育・大学入試問題検討委員会

目的

平成 30 年告示の高等学校学習指導要領の下で行われる教育における高等学校の生物教育で学習すべき用語を選定する。日本学術会議が 2019 年に指針として示した生物重要用語集

(<https://www.scj.go.jp/ja/info/kohyo/pdf/kohyo-24-h190708.pdf>) のアップデートを図るものである。これによって、今後の高等学校生物教育における用語の使用の指針を示すとともに、生物は魅力ある科目であることを高校生に示す。また、入試における直接用語を問う問題からの脱却を図り、生物が単なる暗記科目ではないことを示す。

作成根拠

平成 30 年告示の高等学校学習指導要領解説理科編・理数編

https://www.mext.go.jp/content/20211102-mxt_kyoiku02-100002620_06.pdf

P14

「生物基礎」及び「生物」においては、主要な概念を理解させるための指導において重要となる用語を中心に、その用語に関わる概念を、生徒が思考力や判断力などを発揮しながら理解できるように指導することとしている。

- ・「生物基礎」：200 語程度から 250 語程度までの重要用語
- ・「生物」：500 語程度から 600 語程度までの重要用語

P126

この科目で扱う用語については、用語の意味を単純に数多く理解させることに指導の重点を置くのではなく、主要な概念を理解させるための指導において重要となる 500 語程度から 600 語程度までの重要用語を中心に、その用語に関わる概念を、思考力を発揮しながら理解させるよう指導すること。なお、重要用語には中学校や「生物基礎」で学習した用語も含まれるものとする。

事業計画

高等学校生物の用語をリストアップし、重要用語集を作成する。選定にあたり、日本学術会議が行った選定基準を準用する。

1 基礎資料の作成

基礎資料の作成は、生物教育・大学入試問題検討委員会を中心に行う。

2 生物教育用語集解説書の作成

生物教育用語集解説書の作成は、生科連に分野ごとの組織を作り、執筆を行う。

予定

用語要望調査	生物基礎中心	7月26日(火)(定例会議)～10月31日(月)(事務局必着)
	生物中心	2023年度第1回定例会議～(3か月程度)
生物基礎・用語の選定		2022年度
生物・用語の選定		2023年度
解説作成		2024年度

用語要望調査

- 1 「生物基礎」において、主要な概念を理解させるための指導において重要となる用語で、日本学術会議が2019年に指針として示した生物重要用語集にない用語。重要度、最重要度に関しては空欄でも良い。
- 2 「生物」において、主要な概念を理解させるための指導において重要となる用語で、日本学術会議が2019年に指針として示した生物重要用語集にない用語。重要度、最重要度に関しては空欄でも良い。
- 3 日本学術会議が2019年に指針として示した生物重要用語集にある用語で、「生物基礎」及び「生物」において、主要な概念を理解させるための指導において重要度が低くなった用語や生物用語ではない一般用語。
- 4 日本学術会議が2019年に指針として示した生物重要用語集にある用語で、「生物基礎」及び「生物」において、主要な概念を理解させるための指導において名称を変更したほうが良い用語。

お願い

用語の増加は避けたいので、1の「重要となる用語で生物重要用語集にない用語」の数と2の「生物教育用語ではない用語や重要度が低くなった用語や生物用語ではない一般用語」の数をできるだけ同程度にして回答いただけるとありがたいです。